

この夏は、台風による豪雨被害が各地で多く出ました。被害に遭われたみなさまに心からのお見舞いを申し上げます。特に鬼怒川の氾濫により堤防決壊し、洪水になったニュース映像には大きな恐怖を感じました。台風や火山の噴火、地震など大きな自然災害の前には、避難することしか私たち無力な人間には術がないことを、また思い知らされるこの夏でした。ところで、このような被災地にボランティアに行こうという人たちの心をくじくような話を知人から聞きました。それは自治体など公的機関が県外からのボランティアは受け入れないという話でした。なぜかという、被災地では避難中の留守宅に泥棒被害が多く出ており、その犯人が県外からのボランティアを装って入ってきている例があるからだそうです。なんと嘆かわしい話ではありませんか！自然災害の被害に遭った方々の家に泥棒に入るなんて、と憤慨すること頻りではありますが、そういえば阪神淡路大震災のときにも、宝石店などに、その日のうちに泥棒が入って被害が多く出たという話を思い出しました。あの頃、混乱の続く中、警察関係も要員が足りず、治安が悪くなり、暗くなってからの外出は危険なことが多く、特に女性が卑劣な犯罪の被害にあう事例が多くあったということを報道や医療機関の報告で知りました。混乱に乗じる心ない人たちがいることは残念で腹立たしいことです。こういうことも危機管理の意識の中に留めおくべきなのでしょう。私たちは苦難の時にこそ弱い立場の人を思いやり、互いに助け合う心を忘れないでいたいものです。

さて、緑の環境クラブは6月に冒険家の三浦雄一郎氏が会長を務める全国森林レクリエーション協会主催の環境美化活動コンクールにて林野庁長官賞を受賞いたしました。黒木副代表が東京会場まで出向き、表彰状をもって三浦氏と長官と共に撮影された写真と神戸新聞9月24日付記事を下記に掲載します。下半期も小学校や子育て中の親子に自然とふれあう機会を里山体験を通して提供してまいります。みなさまの変わらぬ御支援に感謝しつつ。了。 代表世話人 北田 香菜子

平成27年度上期の活動報告

★里山ふれあい森づくり作業 作業日数 23日 作業延人数 198名 7月・8月は猛暑の為、原則、整備作業は実施していません。三田市立有馬富士森林公園内Dゾーン(9.9ヘクタール)の里山放置林において保全・整備を実施。(企業参加 ニ崎信用金庫、新日本カレンダー(株)) 毎週水曜日と土曜日を基本的に活動日とし、その他の曜日にも随時人数が集まれば活動しています。



★イベントの開催

★4月25日 春のありまふじフェスティバル 電気ペンでお絵かき & ペンダント作り (参加者88名:スタッフ14名)



★9月19日 キノコ観察会 (参加者24名:講師・スタッフ14名)



★ 里山体験学習支援

★6月2日 有馬富士公園公開セミナー (有馬高校生徒16名・教師1名:パークセンター1名・トライやるウィーク2名・スタッフ6名)



★ 4月22日 第18回定例総会 (出席 24名)



平成27年9月24日(木)付 神戸新聞 三田版 林野庁長官賞 受賞記事



★ 6月5日 東京にて「第27回森林レクリエーション地域美化活動コンクール」で林野庁長官賞を受賞



★6月20日 ナツツバキ群落状況調査 緑の環境クラブから4名参加



平成27年度下期の活動予定

- 10月以降 里山保全活動 :有馬富士森林公園及び周辺エリアでの森林整備等 (27年度森林・山村多面的機能発揮対策事業を含む)
- 10月 3日 北摂里山大学 植生調査・整備作業演習支援
- 10月 17日 有馬富士フェスティバル 電気ペンの出店
- 10月 24日 フラワータウン市民センターまつり パザーと電気ペンの出店
- 10月 27日 ブイブイの森 里山整備安全研修支援 ①
- 10月 30日 松が丘小学校里山学習実施(生徒数19名)
- 11月 17日 ブイブイの森 里山整備安全研修支援 ②
- 11月 21日 有馬富士公園にて「キララ」主催の自然学習イベント支援
- 12月 4日 松が丘小学校里山の手入れ実施(生徒数19名)